

鳥島方言の語彙

中本, 正智

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

6

(開始ページ / Start Page)

7

(終了ページ / End Page)

50

(発行年 / Year)

1981-03-20

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012741>

鳥島方言の語彙

中本正智

ここで記述する鳥島方言は、次の方々に教えていただいた。

国吉昌栄氏 明治41年生まれ

那覇と南方で生活したことがある。

国吉徳之助氏 明治37年生まれ

2年間、兵役へ行ったが、他は鳥島で生活。奥様は鳥島の「神女」である。夫婦間の言葉は鳥島方言である。

仲村清市氏 大正14年生まれ

鳥島生まれの鳥島育ち。

仲村アイ子氏 大正13年生まれ

南洋と那覇で生活したことがあるが、ほとんど鳥島で生活。

長時間、御協力いただいたことに対し、心から御礼を申し上げる。

語彙その1. 名詞語彙

(1) 身体関係の語彙

体の部分に関する語彙

頭

tʃibui (頭)

tʃibui jammeː (頭痛) tʃibui jammeː
ともいう。

tʃibui noːti (頭が治った)

tʃibui dzoːtoː tsundaː (頭が良い)
「上等である」という表現。

tʃiburu kuruːtoːssaː (頭が悪い)
「狂っている」という表現。

tʃibui ʔuta jiː (頭を打とう)

tʃibui hagjti (頭が禿げて)

kaidʒi (髪)

kaidʒi sabakiba (髪をけずりなさい)

kaidʒi tʃimiratti (髪を刈られた)

kaidʒi tsujakufi (髪をきれいにして)
 tsujakufi は tsuwakufi といってもよい。
 tsubui nu Φuni (頭蓋骨)
 tsubuinu tʃidʒi (頭の頂, 脳天)
 「ひよめき」の意味でもある。
 kaidʒigi: (髪の毛) 「毛」一般は ʒi: という
 watʃigi: (脇毛)
 ʔutuge: ʒidʒi (顎ひげ)
 ʔwa: ʒidʒi (口ひげ)
 tʃibuinu ʒi: nugiti (頭の毛が抜けて)
 ʃijagi (白髪)
 ʔufiʔkubu (後頭部)
 ʔufiʔkubunu ʒi: (後頭部の毛) とがって
 いる毛。
 tʃidʒuwa: (ちぢれ毛)
 ʔunu kaidʒe: tʃidʒuti (この髪はちぢれ
 て)
 ʔagi tʃibui (禿げ頭) hagi tʃibui ともい
 う)
 maki (つむじ)
 ta:tʃu: maki (二つ巻き)
 ʒidʒai maki (左巻き)
 wakigami (分け髪)
 gutʃaʔa (しらくも) gutʃawa ともいう。
 ʃijabe: は顔などにでるもの。
 ʔi:tʃi (ふけ)
 dʒi: ʔanda (脳味噌) dʒi: は「芯」の意で、
 ʔanda は「油」の意。
 ʒitʃita:ma: (髪が薄い者)
 ʒitʃisai gata (薄くなっている)
 gata は形容詞につく接尾語
 ʔagi tʃibui (禿げ頭)

 顔
 tʃiia (顔)

ha:dʒi (頬) 本来は顎を表わす「かまち」に
 対応する語である。
 ʔutuge: (顎先)
 ha:dʒinu Φuni (頬骨)
 ha:dʒi buninu Φusai gata (頬骨が大き
 い) 「小さい」は ku: saigata という。
 me:ʒitʃe: (額) 「前額」という表現。
 mimao (眉)
 mimao tanaka (眉の間)
 moko: (眉間)
 kumikan (こめかみ)
 mimaonu ʔatudʒi: (眉の尻) ʔatudʒi:
 は「後尻」のこと
 mimao ʒi: (眉毛)
 ʒidʒagui (しわ)
 waje: kubu (えくぼ)
 to:ʃimbai (おたふく)
 ho:kaburi (頬かむり) sadʒi (たおる)
 で頬かむりをする。
 ko:ga:ki: (鉢巻き) 本来, 「頬かむり」
 を表わすが, 「鉢巻き」の意味に推移してい
 る。

 目
 mi: (目)
 mimaʃi (まつげ) matʃigi ともいう。
 mi: nu tʃikariti (目が疲れて)
 mi: nu wutati ともいう。
 mi: jamme: (眼病)
 mintama: (目の大きい人)
 mi:nu Φusai gata (目が大きい)
 Φusai ʒitʃu (大きい人)
 gumasai gata (小さい)
 ku:san (小さい)
 mi: ku:in (目をつむる)

kuimi (黒目)
 ſijumi: (白目)
 mi:nu ſin (ひとみ) 「目の芯」という表現。
 ʔakami: (赤目)
 mi:nu ʔakasai gata (目が赤い)
 mi:nu ʔutʃi (目の縁)
 mi:gafija (目頭)
 ʃuga: mi: (一重まぶた) 「一皮目」という表現。
 taga: mi: (二重まぶた) 「二皮目」という表現。
 ʔu:ʃi mi: (ただれ目) ʔu:ʃiは「風気」のことで「流行^{はやり}」の意。
 hatami: (片目) 語頭音は喉頭声門の有声摩擦音を表わす。他の久米島方言にない、珍しい音声である。
 tui mi: (鳥目)
 ʃikami: (近眼) 「近視」のこと。
 tu: mi: (遠眼) 「遠視」のこと。
 jo:ga: mi: (やぶにらみ) 「斜目」という表現。jo:ga:は方向がそれたり、物が傾いたりすること。
 ʔibija (ものもらい)
 mikwa: (めくら)
 tiraho:mu (トラホーム)
 nara (涙) mi:nuraともいう。
 mi:kusu (目やに) 「目糞」という表現。
 nara jo:san (涙もろい)
 nara ʔutʃi (涙を落として)
 mi:ʔutʃi (まばたき)
 mi: ʃaka ʃaka: sun (目をとじたり、開いたりする)
 mi: ʔutʃi sun (まばたきをする)
 mi: ʃitʃasan (まぶしい)
 ʔu:tu migua: (めまい)

mi:guwai (不眠症)
 mi: ʃakufi (めかくし)
 mi: ntʃubu (目に入ったごみ)
 mi:ntʃubu ʔitʃi (目にごみが入った)
 mijun (見る)
 ʃu mi:gata (人を見る)
 mi:guisan (見苦しい)
 mi: bukuʃi (見たい)
 ʔuʃi mijun (後を見る)
 mi:ʃikiti (見つめる)
 mijan ʔu:na: (見ぬふりをする)
 jusumi sun (よそ見をする)
 mi: ʔaʃkiti (目をむく)

鼻

hana (鼻)
 hananu kowasa (鼻が堅い)
 hananu takasa (鼻が高い)
 takabana (高鼻)
 ʃikubana (低鼻)
 hana kudʒi:ti (鼻がつまっている)
 hana ʃittʃi (鼻をひる)
 hana kudʒi:n (鼻をくじる)
 ſiʃibana (獅子鼻)
 hanagi: (鼻毛)
 hananu ʔana (鼻の穴)
 hananu saʃi (鼻の先)
 midʒubana (水鼻)
 hanadari (鼻だれ)
 midʒihanarai (水鼻だれ)
 hanadʒi: (鼻血)
 ʔakabana (赤鼻)
 hanakusu (鼻糞)
 hadʒa (におい)
 jana hadʒa (悪いにおい)

ji: hadʒa (良いにおい)
 hana ʔiki (鼻息)
 ʔitʃi (息)

耳
 mimi (耳)
 mimi kudʒi:n (耳をくじる)
 mimi nai (耳鳴り)
 mimi jamun (耳がいたい)
 miminu he:saigata (耳が速い)
 mimi kudʒi:ti (耳が遠い)
 「耳がくずれて」という表現。
 miminu ʔana (耳の穴)
 miminu tai (耳たぶ)
 miminu ha: (耳垢)
 mimikusu (耳糞)
 mimindʒai (耳だれ)
 mimikudʒi: (つんぼ)
 tʃitʃun (聞く)

口
 kutʃi (口)
 kutʃibiju (唇)
 ʔwa:gutʃi (上唇)
 ʧitʃagutʃi (下唇)
 ʧidʒi (髭)
 ʔwa:ʧidʒi (口髭)
 ʔutuge: (顎髭)
 ha:dʒinu ʧidʒi (頬髭)
 ʔidʒani (どもり)
 tʃi:gu: (おし) tʃi:ga:ともいう。
 mun ʔi:dʒimasan (ものが言いにくい)
 kutʃi ku:ti (口をとじる)
 kutʃi tugajatʃi (口をとがらして)
 kutʃi hagiti (口がはげて)

kutubanu ʔusaigata (言葉が多い)
 juntaku: (ほらふき)
 ʔabija: (よくしゃべる人)
 ʃiba: (三つ口)
 tumpe: (唾)
 kaʃigui (痰)
 ʃitʃa (舌) シバとは言わない。
 ʔadʒi (味)
 nami jun (なめる)
 ha: (歯)
 ha:ga jammun (歯が痛い)
 ha: ʃakiti (歯が欠けて)
 me:ba: (前歯)
 ʔukuba: (奥歯)
 ʔadʒiba: (犬歯) 歯なみが乱れているものにもいう。
 muʃiba (虫歯)
 ha: ʔujun (歯を植える) 義歯を入れること。
 ʔiriba (入歯)
 ha:gifigifi (歯ざしり)
 ʔa:kusu (歯糞) ha:kusuともいう。
 hammun (噛む)
 ha:dʒiti (かじる)
 kuitʃijaʃi (食いちらす)
 kuitʃijakatʃi (食い散らす)
 namiti (なめる)
 ku:ti (くわえる)
 ʔakiti (吐く)
 hagutʃi (歯茎)

声
 kui (声)
 haja: kui (大声)
 haja: kui ndʒati (大声を出す)
 magi kui (大声) ʔu:guiともいう。

guma kui (小聲)
 hana mun jo: (鼻声)
 kutʃi bui (口笛)
 ʔi:bi bui (指笛) ti:bui ともいう。
 kusabui (草笛)
 kui haiti (声がかれて)
 kui ga:i (声変わり)
 sakuwabi (しゃっくり)
 ʔakubi (あくび)
 sakkui (咳)
 janagutʃi (悪口)
 janagutʃi ʔijun (悪口を言う)
 ʔagu (顎) 共通語的。hakudʒi の方がよい。
 ʔutuge: (顎先)

首

kubi (首)
 nagakubi (長首)
 kubisudʒi (うなじ) hadʒikubi ともいう。
 kubi hatantʃi (首を傾げる)
 jo:ga:kubi (首が傾いている人)
 kubi kuntʃi (首つり)
 nubi: (喉)
 nubi: ka:kiti (喉が乾いて)
 共通語的に nuru と言うことが多い。
 ʔufiʔkubu (ぼんのくぼ)
 nubi: dagu (喉仏)
 ʔwa:gwa: (喉彦)
 nubi: ʔwa:gwa: ともいう。
 jeri (襟) kubi が本来の方言。

肩

fiata (肩)

fiata kuti (肩が凝る)
 fiatanu jammun (肩が痛い)
 ti: ʔutʃaki (けんびき)
 ti: ʔutʃakinu ʔuni (かいがら骨)
 fiatabuni (肩骨)
 nigutʃi (胸)

手

ti: (手)
 ti:nuʒija (手の平)
 ti:kubi (手首)
 ʔuri (腕)
 ʒi:dʒinto: (肘)
 ti:nu magai (関節)
 ti:dzukun (こぶし)
 ti: ʃinadʒun (手をつなぐ)
 ti: ʒitʃun (手をひく)
 ti: ʃippujun (手をしゃぶる)
 ti: jugutʃi (手をよごす)
 ti: nubatʃi (手をのぼす)
 ti: ʔagiti (手をあげる)
 ti: nufijun (手をのせる)
 ti: ʔutʃaki:n (手をのせる)
 ti: muri (手をもむ)
 ti: ʔisa (手足)
 ti:ʔisa ʔaje:ti (手足を洗って)
 ʔidʒaja: (左きき)
 fiatadi: (片手)
 ta:ʃindi: (両手)
 ti:mukka: (手のない人)
 ti:sagui (手さぐり)
 ti:nusatʃi (手先)
 ti:nuʒija (手の平)
 ti:ma:mi (手に出きたたこ)
 ti: nu ʔaja (指紋)

- ti: nu wata (手の平, 内側)
 ti: nu fui (手の甲)
 ti: wari (手のひびわれ)
 ti: nusakusaigata (手がひびわれる)
 ko: sa: (げんこつ)
 ʈikari (つかんで)
 ʈikamun (つかまえる)
 muriti (ひねって)
 ti: muriti (手をひねって)
 ʔudikaki (腕相撲)
 ti: do: da: ʈi: (腕組み) ti: to: da: ʈi: ,
 ti: ro: ra: ʈi: ともいう。
 ti: to: da: ʈi: ʃi ʔatʃi (腕組みして歩
 く)
 gute: (腕力)
 ʔi: bi (指)
 ʔi: bi nubi (指をのばす)
 ʔi: binsaʈi (指先)
 ʔujajubi (親指)
 ʈitosaʃijubi (人差指)
 nakajubi (中指)
 kusuri jubi (薬指)
 kojubi (小指)
 ʔi: binu tanaka (指の間)
 ʈuʃi (節)
 ʔi: bisafi (指さし)
 ʔi: binu mutu (指の根元)
 ʈimi (爪)
 ʈimi jammun (爪がいたい)
 ʈimi jamaʈi (爪をいためて)
 namaɖʒimi (生爪)
 namaɖʒimi hadʒi (生爪をはぐ)
 ʈimi kusu (爪糞, 爪垢)
 ʈimi ʈi ʈi (つねる)
 mindʒun (鼻をつねる)
- ʈippati (引張って)
 ʈimijun (切る)
 ʈimi ʈimijun (爪を切る)
 胸
 niguʈi (胸)
 niguʈinu jadi (胸が痛い)
 watʃi (脇)
 watʃigusa (脇臭) watʃihadʒa ともい
 う。
 watʃigi: (脇毛)
 watʃigi: nu mi: tun (脇毛が生えている)
 so: kibuni (肋骨)
 niguʈi gi: (胸毛)
 ʈi: (乳)
 ʈi: numaʃ: ba (乳を飲ませる)
 watʃin go: (脇の穴)
 watʃigi: (脇毛)
 watʃi (脇腹)
 watʃi bara ともいう。
 gudʒugujun (くすぐる)
 hago: kuʃi (くすぐりたい)
 niguʈi (みぞおち) 「胸」と同じ。
 wata (腹)
 wata jamun (腹が痛い)
 wata jammei (腹痛)
 wata nu ʈi: (腹の毛)
 ʈiʃawata (下腹)
 ʈiʃawatanu ʈukuiti (下腹がふくれて)
 watanu ʈusaigata (腹が大きい)
 ʈusu (臍)
 ʈusudʒu: (臍の緒)
 ʈusudʒu: ʈi jun (臍の緒を切る)
 tembusu (出臍) また tembusa: ともい
 う。

hufi (背中) 語頭音は有声摩擦音である。

hufi magati (背中が曲がって)

hufi nubato:ti (背中を真直にして)

gamaku (腰) 細腰

ko:gu: (せむし)

hufi buni (背骨)

mai (尻)

maitabuwa (お尻全体)

sanadʒiʃadʒi (尾髄骨) sanadʒi は「ふんどし」の意。女性のするのは me:tʃa: という。

mannumi: (肛門)

ho:ta: (陰門)

çi: (陰毛) ku:gi ということもある。

butu (男根)

ʃugui (睾丸)

tʃitʃinumun (月経)

kasagiti (妊娠して)

sa:imaki (つわり)

内臓

ʃindzo: (心臓) ʃindzo: mami ともいう。

ʃuku (肺臓)

tʃimu (肝)

?i: (胆のう)

kukuru (心) tʃimu ともいう。

wata (はらわた)

?i: (胃)

n:dʒədʒiru (胃液)

nagawata (腸)

guma wata (小腸)

sagiti (くだして)

kaitsu: muʃi: (蛔虫)

kusu (糞)

kusumajun (糞をする)

ʃi:be: (小便)

ʃi:be: sun (小便をする)

n:na gako: (おしめ)

çi: (屁)

çi: çijun (屁をひる)

tʃi: (乳, 乳房)

tʃi:nu kubi (乳首)

jo:ʃan (ひもじい)

jo:ku nati (ひもじくなくて)

watahati (腹がいっぱい)

hambunwata (半分腹)

脚

ʃini (脚全体)

本来「脛」を表わす ʃini が「脚全体」を表わすようになってきているのは奄美徳之島にも見られる現象であり、鳥島方言が奄美系の一方言であることを証するものにはほかならない。

「手足」は ti:çi:tʃa と言う。

mata (股)

momo (腿)

tʃinʃi (膝)

tʃinʃibuni (膝小僧)

matagufi (またぐ)

tuʃʃuiti (飛び越えて)

ʃunifidʒi (むこう脛) me:ʃidʒi ともいう。

kunra (腓)

ʃinigi: (脛毛)

※「くるぶし」応答なし。

?aru (踵)

ʃininuwata (足裏) ʃiniwata ともいう。

çi:tʃabija (足の甲) ʃininu çi:tʃabija ともいう。

ʃininusaki (爪先)
 takabisa: (爪先立ち)
 hanriti (脱臼して)
 kuŋke:jatʃi (足をくじいて)
 ʃimmatibutʃi (つまづく)
 ne:ɔdʒun (びっこをひく)
 ʃininukubi (足首)
 ʃininu ʔatu (足跡) ʔaʃiʔatuともいう。

体の全体に関する語彙

ha: (垢)
 nuʃi (命)
 ʃi: (気)
 ʃi: tattʃi (気が立つ)
 butsukun (気絶)
 kibun (気分) 共通語的。
 kibuŋga ʃusaigata (気分がよい)
 ʃi: ʔambe: (良い塩梅) がより方言的である。
 kundzo: (短気)
 ʃijanun ʔiru (顔色)
 ʃija ʔirunu tsurasai gata (顔色が美しい)
 ʔiru ʔo:ta: (顔色が青色い)
 ʃijanun ʔirunu nassai gata (顔の色が悪い)
 ʔo:ta:ma: (青白い顔)
 kaida (体)
 kaidanu jo:sai gata (体が弱い)
 du: (体)
 du:nu ʃu:san (体が強い)
 du:nu jo:san (体が弱い)
 n:na du: (何も持たない体)
 ʃikai (力)

ʃikainu ʔaigata (力がある)
 ʔaʃi (汗)
 ʔaʃi nditi (汗が出て)
 ʔaʃibu (あせも)
 ʔaʃimaki (汗でかぶれること)
 ʔanra (あぶらみ)
 maʃʃi (赤肉)
 hada (肌)
 hadanu ʃujasai gata (肌が美しい)
 nikun (にきび)
 he:nukusu (そばかす) 「蠅の糞」という表現。
 sami (さめ肌) 「かいせん」の意にもなる。
 sama:は「かいせん」の人をいう。
 ka: (皮)
 ʔuʃitʃi (青あざ)
 ʔuʃitʃi miguti (青あざができて)
 ʔadza (ほくろ)
 ʃirufi (蒙古斑)
 to:ʃimbai (扁桃腺)
 gabu (こぶ)
 ti:ma:mi (手にできるたこ) 「水ぶくれ」ともいう。
 jakedo (やけど)
 ※「いぼ」無回答。
 harimun (腫物)
 ʃasa (できもの)
 ʃasanu ʃukuiti (できものが腫れて)
 ʃukuiti (腫れて)
 ʃijanun ʃukuiti (顔が腫れて)
 kidʒinu ʃukuiti (傷が腫れて)
 ʔumi (膿)
 ʔumi ʔndʒitamba: (膿が出たかね)
 ʔumi ʔe:sun (膿をつぶす)
 binduku (梅毒)

çidʒi (傷)

?utʃimi (打撲傷)

kiga (怪我) 共通語的。方言では答えにくい。

nadijun (撫でる)

kidzu ?atu (傷あと)

çi: (毛)

Φukugi (産毛)

hadʒigi: (無駄毛)

hadʒigi: mi:ti (無駄毛が生えて)

tʃi: (血)

?utʃimi (血まめ)

kusui (薬)

ʃindʒigusui (せんじ薬)

muʃikuraʃi (虫下し)

ko:ʒaku (膏薬)

kusuija: (薬屋)

duku (毒)

maku (脈)

maku ?uttsunra: (脈をうつよ)

kinniku (筋肉)

ʃidʒi (筋)

Φuni (骨)

Φuʃi (関節)

Φuʃibuʃi (関節, 複数)

ʃiθkeitsu: (神経痛)

jamme: (病気)

kambjo: (看病)

hadʒi (風邪)

kusaΦu: (マラリヤ)

?uθki mudʒəminna (身動きできない)

he:jun (流行する)

niʃi (熱)

çikitsuke (引きつけ) 熱が高く引きつけを
起こす。

kugutʃi (てんかん) 徳之島では kugutsi と

いう。

?irigasa: (はしか)

sagi (下痢)

?isa (医者)

Φu: tʃi (もぐさ)

jaʃu: (灸)

jaʃuʃ jaʃuʃun (灸をすえる)

tʃibu (つぼ, 急所)

takuiti (ただれる)

no:jun (治る)

Φuike:sun (ぶりかえす)

?itʃige:ti (生きかえる)

?iʃfo:gai (一生涯)

mmajun (生まれる) mmaiti (生まれ
て)

nasun (産む)

Φukui (えな)

kwabukui (子を包んでいるえな)

ʃinun (死ぬ)

ʃidʒan (生んでしまった)

kwe:jun (肥える)

kwe:tui çitʃu (肥えている人)

jo:gajun (やせる) jo:gaiti (やせて)

jo:gaitui çitʃu (やせている人)

jaʃirin (やつれる)

nibuʒun (寝る)

nintasan (眠い)

sudatijun (育てる)

tʃikanejun (養う)

?atʃun (歩く)

ho:jun (這う)

ju:tʃaθke: ho:jun (横に這う)

?atʃun (走る, 歩く)

?itto:be: (走ること)

jo:sadʒini (餓死)

hadʒitʃi (いれずみ)
 takkui (かさぶた)
 ʔimi (夢)
 ʔimi mijun (夢を見る)
 nigutu (寝言)
 nintuti wajujun (寝ていて笑う)
 hananu najagata (鼻が鳴る, いびきを表
 わす)

(2) 人間関係の語彙

çitʃu (人)
 jiʔga (男)
 jinagu (女)
 mi:tunba (夫婦) tudʒu:tu (妻夫)と
 もいう。
 tudʒi (妻)
 ju:be: (妾) ju:be: matabe: ともい
 う。
 me:tudʒi (先妻) ʔatutudʒi (後妻)
 wutu (夫)
 ʔujan ja: (里, 親元) 「親の家」という表
 現。
 mutuja: (実家)
 ʃitu (しゅうと) ʃitu ʔujaともいう。
 jumi (嫁)
 mu:ku (婿)
 duʃintʃa: (友人, 友達)
 ʔuja (親)
 ʃitʃa: (父) su:とは言わない。
 ʔamma: (母)
 mama ʔuja (継母) 「継父」は ʃitʃa: で
 よい。
 jo:ʃi (養子)

kʔwa (子)
 ʔakaʔgwa (赤坊)
 tʔa:tʃu: (双生児)
 ʃʔuiʔgwa (一人っ子)
 jagusamiʔgwa (私生児)
 jikigaʔgwa (むすこ)
 jinaguʔgwa (むすめ)
 ʃakuʃi (長男)
 dʒinan (次男)
 sannan (三男)
 ʃi:dʒaʔgwa (年上の子)
 ʃi:dʒajinaguʔgwa (年上の女の子)
 dʒinan jinaguʔgwa (次女)
 sannan jinaguʔgwa (三女)
 suekko (末子) 共通語的。
 ku:sai çitʃu (小さい人)
 wakmun (若者)
 tusui (老人) ウイヒトウといわない。
 mmi: (姉) ʔaʔgwa:ともいう。
 jinaguʔgwa (娘)
 tufi (年, 年令)
 çitutufi (同い年) jintufiともいう。
 tufiʔui (年上) ʃi:dʒa ともいう。
 tufiʃitʃa (年下) ʔuttuともいう。
 ja: (家)
 wan (私) ʔan ともいう。
 ʔabo: (私は)
 wassa (私たち)
 ʔwe: (お前) 目下に対していう。
 ʔu:sa (お前たち)
 na: (あなた)
 nitta: (あなたたち)
 ja: (家)
 ʔa:ja: (私の家)
 wa:ja: (私たちの家)

?u:ja: (あなたの家)
 ?u:saga ja: (あなたたちの家)
 na:ja: (あなたの家)
 nitta:ja: (あなたたちの家)
 ja:nindzu (家族)
 ja:nunufi (戸主)
 ?e:ka (親戚)
 ?e:kantfa: (親戚の人たち)
 mutuja: (本家)
 ja:tatfi (分家)
 ja:tatfi sun (分家する)
 ja:tatfiŋgwa (分家した子供たち)
 ɸa:wudzi (先祖)
 k?wam?maga (子孫)
 ɸudze: (祖父)
 ɸuppa: (祖母)
 ※「祖父母」の総称は無回答。
 ?u:ɸudze: (曾祖父)
 ?u:ɸuppa: (曾祖母)
 m?maga (孫)
 jiŋgam?maga (孫むすこ)
 jinagum?maga (孫むすめ)
 内孫と外孫の区別がない。
 hatfi m?maga (初孫)
 mata m?maga (ひまご)
 ɸitfi m?maga (ひしゃご)
 ɸo:re: (きょうだい)
 jiŋga ɸo:re: (男きょうだい)
 jinagu ɸo:re: (女きょうだい)
 wiki: (女きょうだいからみた男きょうだい)
 「あけり」に対応する。
 wunai (男きょうだいからみた女きょうだい)
 「をなり」に対応する。
 fi:dza (年上)男女にいう。
 ?appi: (兄) wikiga fi:dzaともいう。

?uttu (弟, 妹)
 ?aŋgwa: (姉) m?mi: ともいった。win-
 agu fi:dzaともいう。
 ?itfiku (いとこ)
 mata ?itfiku (またいとこ)
 mi:kkwa (姪, 甥)区別がない。
 wuntfu: (叔父)
 ba:ɸji: (叔母)
 ?uɸu wuntfu: (大叔父)
 ?uɸu wuba: (大叔母)
 ja: tatfi ?itfun (嫁ぐ) jumi ŋke:
 ?itfun (嫁に行く)
 tudzi tume:jun (妻を娶る)
 jagusami (寡夫, 寡婦)特に jiŋga jagu-
 sami jinagu jagusamiという。
 kwamuja: (子守り)
 ti: muk kwa: (片手の人)

(3) 生物関係の語彙

?itfimufi (獣)
 wu:mun (雄)
 mi:mun (雌)
 kwe:mun (食物)
 ?wa:nu mun (豚の餌)
 ?uɸinu mun (牛の餌)
 m?manu mun (馬の餌)
 mundani (魚を釣る餌) ?ju:nu mund-
 aniともいう。
 kabu (撒き餌)
 kabu maki (餌を撒け)
 tamafi (分, 配当された分量)
 ?a: tamafi (私の配分)
 ɸji: mun (牛など交尾する)

ʔin (犬)	ho:ho:と鳴く。
ʔusadʒi (兎)	medʒiro (目白)
ʔuʃi (牛) ʔuʃigama (小牛) gama は指小辞。	ʔumidui (海鳥)
mʔma (馬)	tʃiduri (千鳥) tʃidʒuja:が普通。
ko:mori (こうもり)	jarumamuwa: (やもり)
sa:ru: (猿)	wa:dʒa: (とかげ)
tuka: (猫)	ʔa:tabitʃa: (蛙)
ʔwe:ntʃu (ねずみ)	ka:mi: (亀)
ʔwa: (豚)	habu (ハブ)
ʔwa:nu niku (豚の肉)	ʔaodaiʃo: (青大将) ʔo:nnadʒa:とも。
ʔwa:nu ʔuni (豚の骨)	gaiʃi habu (からす蛇)
ʃi:dʒa: (山羊)	ʔiju (魚)
ʃi:dʒa:nu tʃinu (山羊の角)	ʔijunu mi: (魚の身)
gudʒija (鯨)	ʔijunu ʔuni (魚の骨)
ʔaʃira: (あひる)	ga:ra (むろあじ)
ʔuguisu (うぐいす) 共通語的。	nʔnadʒi (鰻)
komo (鴨)	katsu: (鰹)
ko:muruja: (雀)	ʔuwabitʃi (かれい)
gaisa: (からす) gaiʃi, ganʃiともいう。	kiʔgjo (金魚)
taka (鷹)	ku: ʔiju (鯉)
tui (鳥)	saba (鮫)
niwatui (にわとり)	ʃiru ʔiju (白鯛) ʃiju ʔiju (白鯛)
kagami (とさか) kandʒiともいう。	dodʒo: (どじょう)
tuinu ja: (鳥小屋)	ta: ʔiju (鮒)
ʔwa:nu ja: (豚小屋)	tubu (飛魚)
ʃi:dʒa:nu ja: (山羊の小屋)	ʃitʃi: (なまこ)
mʔmanu ja: (馬の小屋)	bu:na: (ふぐ)
ʔuʃinu ja: (牛の小屋)	nakaja: (針千本)
ʃijoko (ひよこ) 共通語的。tuigwa:が方言。	ʔibi (海老) 伊勢海老にもいう。
ʃirasun (孵化する)	se: (小さい海老)
hato (鳩)	ʔi:tʃi (鱗) 「ふけ」と同じ。
ʔukuro: (ふくろう)	ʔudʒija (鶉)
	ʃitu (いるか)
	ʔaiko: (蟻) ʔaniが鳥島の方言。
	gadʒan (蚊)

ha:bi:ru: (蛾)
 ha:bi:ru: (蝶)
 ?adʒake: (しゃこ貝)
 bura (ほら貝) buwa ともいう。
 ʒibari (ひばり)
 hani (羽)
 hanige: (翼)
 gata: (ばった)
 he: (蠅)
 ?we:nʒu (鼠)
 ʃibi (まぐろ)
 meraka (めだか) 共通語的。
 to:bi:ja: (ごきぶり)
 ?andamufi (油虫) jase:mufi が普通。
 ?udʒimufi (蛆)
 ?irimusa: (芋虫)
 ko:rogi (こおろぎ)
 ʃirami (虱)
 ?asa?asa (蟬)
 ?a:ke:dza (とんぼ) ?a:ke:dʒu:ともい
 う。
 numi (蛋)
 hatʃi (蜂)
 ʃimobo:ra:batʃi (熊蜂)
 ka:batʃa: (ぬか蜂) ka:jabuʃa ともい
 う。
 mufi (虫)
 ʃinnan (かたつむり)
 ?ammaku (やしがり)
 gani (蟹)
 ?umigani (海蟹)
 ka:jagani (川蟹)
 ʃu:bu (蜘蛛)
 namekudʒi (なめくじ) 共通語的。
 mimidʒi (みみず) mimidʒu:ともいう。

mukadʒe (百足)
 ?awaku: (あさり) 「はまぐり」にもいう。
 大小は関係なく、二枚貝にいう。
 ?itʃa (鳥賊)
 gatʃisa: (うに)
 ?ibi (車えび, 伊勢えび)
 mina (蛸貝)
 ?i:ja (くらげ)
 taku (蛸)
 ta:mina (たにし)
 ?aman (やどかり) 「大やどかり」も同じ。
 dzu: (尾)
 hanige: (翼)
 ka:mi: (亀)
 ka:minu ku: (亀の甲)
 ʃi:ba (牙)
 ʃuga (卵)
 jamam?ma (かまきり)
 tsubame (つばめ) 共通語的。
 ʃi: (巢)
 ʃi:sa: (獅子)

(4) 植物関係の語彙

nakudʒi:ja: (うらなり)
 jira (枝)
 ka: (皮)
 ʒi:nu mi: (木の実, 果実)
 ha:nu ?utijun (葉が落ちる)
 suwa (梢)
 hagi (蔭) ʒi:nu hagi (木蔭)
 ʒi:nu satʃi (木の先)
 ʒi:nu mutu (木の元)
 ʒi:nu mata (木のまた)

- kusa (草)
 ʃiba (芝生)
 kusamoː (草原)
 saʃiki (挿木)
 ʔueki (植木)
 ʃin (芯)
 sani (種)
 kuri (粟)
 ʔawa (粟)
 mudʒi (麦)
 mudʒi sani (麦種)
 mumi (糲)
 naːsu (苗代)
 nʔni (稲)
 neː (苗)
 nʔninu sani (糲種)
 nʔni hajun (稲を刈る)
 mukkuː (つぼみ)
 niː (根)
 ɕiːnu niː (木の根)
 haː (葉)
 hana (花)
 ʔuʃi (節.)
 dai (竹)
 ʔuː (穂)
 basaː (芭蕉)
 basaːdʒin (芭蕉の着物)
 waː miː (若芽)
 mami (豆)
 ʔakamaːmiː (あずき)
 kuimaːmi (黒豆)
 sajamami (さやまめ)
 ʔitʃubi (野莓)
 ʃiʃiburu (ひょうたん)
 ʔukugi (福木)
- sugi (杉)
 deːkuni (大根)
 dai (竹)
 dainu kwa (竹の子)
 dʒiːmaːmi (落花生)
 ʃikimun (漬物)
 ʃiju (蔓)
 ʃibui (冬瓜)
 ndʒi (バラなどのとげ)板などのとげにも、
 魚のとげにもいう。
 mandʒuː (パイヤ)
 mʔmu (芋)
 taː mʔmu (田芋)
 ʃinnuku (里芋)
 jamamʔmu (山芋)
 dʒagaʔimo (じゃがいも)
 ʔiʔgen (いんげん豆)
 ʔui (瓜)
 kiːʔui (きゅうり)
 jendoːmaːmi (えんどう豆)
 goːjaː (苦瓜)
 gadʒimai (がじゅまる)
 kaki (柿)
 jamagaki (山柿)
 ʃibugaki (渋柿)
 hoːdʒi (麴)
 hoːdʒi kuːtun (麴が入っている)
 maʔkwaː (かぼちゃ)沖縄では naʔkwaːと
 いう。
 guʃitʃi (すすき) ʃibanuhana (すすき
 の花)
 kai (茅) kajaともいう。
 mimigui (木くらげ)
 kinoko (きのこ)
 bansuː (ばんじろう)

kʔwa:gi (桑)

kwa:ginu mi: (桑の実)

nare:ʃi:の方がより方言的。

gumbo: (牛蒡)

ku:bu (昆布)

konjaku (こんにゃく)

sakaki (榊)

sakura (桜)

de:ku (笹)

wu:dʒi (さとうきび)

sannin (さねん花)

saboten (さぼてん)

sarusuberi (さるすべり)

kaoʔifi (軽石)

ʃuru (棕櫚)

kuba (檳榔)

ʃo:ga (しょうが)

ʃibui (とうがん)

na:be:ja: (へちま)

tʃiburu (ゆうがお)

gufitʃi (すすき)

suttʃi (蘇鉄)

suttʃinu mi: (蘇鉄の実) ʃittʃimi:

ともいう。

ʔuʔtʃidʒa: (大豆) ʔo:ʔiʔu:mamiとも

いう。

tamanegi (玉葱)

tʃa: (茶)

tʃawan (茶碗, 湯のみ)

ko:gusu (とうがらし)

to:morokofi (とうもろこし)

to:dʒin (こうりゃん)

tomato: (とまと)

na: (菜)

ja:fe (野菜) ʃi:ともいう。

nasubi (茄子)

bira (ねぎ) bijaともいう。

mi:bira (にら) mi:bijaともいう。

tʃire:kuni (人參)

ʧiju (にんにく)

※「ひるぎ」は無回答。

ʔa:sa (あおき)

nui (のり)

sunui (もずく, すのり)

mo:gusa (藻草)

basanai (芭蕉の実, パナナ)

bara (ばら)

ʧimawari (ひまわり)

tʃitʃidʒi (つつじ)

tampopo (たんぽぽ)

ʧinoki (ひのき)

tʃa:gi (榎の木)

ma:tʃi (松)

ma:tʃinu ʧa: (松の葉)

ma:tʃigasa: (まつかさ)

ma:tʃiʔanra (松脂)

kunubu (みかん)

mu: (藻) mu:gusaともいう。

mumu (桃)

janagi (柳)

ju:na (ゆうな)

ju:naga:sa (ゆうなの葉)

juri (百合)

ʧutʃi (よもぎ)

datʃo: (らっきょう)

wakame (わかめ)

wata (綿)

mokumao (もくもう)

ʔume (梅)

tsubaki (椿)

warabi (わらび)

ʔasa (麻)

(5) 自然関係の語彙

ʔama (あちら) ʔama n:ke:tun (あちらを向いている)

ɸuma (こちら) ɸuma na:wun (こちらに居る)

ɸumake:ɸu:ba (こちらに來い)

mma (そちら)

me: (前) me: n:ke:jun (前を向いている)

ʔufi (後) ʔufi n:ke:jun (後を向いている)

ma: (どこ) ma:θke:ga ndʒara wa:—jan どこに行ったかわからない。

tati (縦) tati θke: nagajun (縦に長い)

juku (横)

juku θke: nagajun (横に長い)

majuku (真横)

majuku θke: nagajun (真横に長い)

suba (傍)

ʔa: suba θke: (私の近くに)

tunai (隣)

ʔa: tunai na: jimba (私の隣に坐れ)

to:mi (平坦)

to:mi θki: naton (平坦になっている)

nidʒi: (右)

nidʒi: gawa (右側)

nidʒi: suba ʔakkiba (右側を歩け)

çidʒai (左)

çidʒai gawa (左側)

çidʒai suba ʔakkiba (左側を歩け)

çidʒai suba mimba (左側を見よ)

ʔui (上)

ʔui suba (上の方)

ʔui subanu mijannun (上の方が見えている)

çitʒa (下)

ka:nu ʔui (川の上, 川上)

ka:nu çitʒa (川の下, 川下)

ʔwa:ri (風上)

çitʒa:ri (風下)

mannaka (真中)

tuike:n (逆に取りかえる)

ʔukke:un (ひっくりかえる)

sakarətʒi (逆立ち)

ʔurage:ʒi (裏返し)

he:ʒima (着物などの裏返し)

he:ʒima: (裏返しで着ること)

tʒidʒi (頂)

jamanutʒidʒi (山頂)

satʒi (先)

me: (前)

ja:nume: (家の前)

me:nuja: (家の前の小屋)

ʔufinuja: (牛の家)

ru:nuja: (自分の家)

tukuma (ところ)

ru:nu tukuma (自分の所)

jama θke: ʔitʒiba (山の方へ行け)

ja:nu suba na ʔaʒibuna (家の側で遊ぶな)

ʔama (あそこ)

ʔamanu jumi θke: najun (あそこの嫁になる。)

ʔagari: (東)

ʔiri: (西)	ʔana (穴)
he: (南)	Φuʃinu ʔana (節穴)
nifi (北)	ʔanaΦugasun (穴を開ける)
ʔagainu ja: (東の家)	ndʒi:kutʃi (出口)
ʔiri:nu ja: (西の家)	jaθkutʃi (家の出入口)
he:nu ja: (南の家)	ʔami (雨)
nifinuja: (北の家)	Φujui ʔami (降る雨)
ʔagaikadze (東風)	ju:datʃi (夕立)
ʔiri:kadʒi (西風)	naga ʔami (梅雨)
he:kadʒi (南風)	natʃi ʔami (にわか雨)
nifikadʒi (北風)	ʔarare (あられ)
hadʒimaki (たつまき)	ʔamadai (雨だれ)
ʔu:hadʒi (台風)	ʔu:midʒi (大水, 洪水)
turi (風)	ʔaitʃi (荒地)
ʔiru (色)	ʃinadʒi: (砂地)
ʔaka: (赤)	ʔitʃi (池)
kuju: (黒)	ʔifi (石)
ʔao: (青)	haja:ʔifi (大石)
ʃiru: (白)	ʔumi (海)
tʃi:ru: (黄色)	tu:sai ʔumi (遠海)
tʃa:ʔiru (茶色)	ʔu: tu:sai tukuma (ずっと遠いところ)
kadʒa (におい)	Φukasai ʔumi (深い海)
nantʃitʃa: (おこげ)	ʔuki (沖)
jaʃi hadʒa (焼けたにおい)	minato (港)
kako:bihadʒa (布の焼けたにおい)	satʃi (岬)
tʔanaka (間)	minatu (港)
ʔakagai (明り)	nufi ʔagijun (座礁する)
ʔagi (陸)	ʒa:gai (暗礁)
jama (山)	ʔumuti (おもて)
ʒifi (岸)	ʔura (裏)
tʃidʒi (頂)	ʔutu (音)
ja:nu tʃidʒi (家の頂)	mo: (野原)
mitʃi (道)	hagi (影)
ʔabuʃi (畦)	ʒitʃunu hagi (人影)
ta: (田)	ki:nu hagi (木蔭)

du:nu hagi (自分の影)	firogasumi (白霞)
fıgata (姿)	çibuſi (煙)
ſıuwasai çitſu (きれいな人)	misaki (岬)
ſıuwakufi (美しい)	fıo:midzu (塩水)
ſıuwaka:gi: (美人)	?amamidži (甘水)
ſıuwasai jinagu (美しい人)	ne: (地震)
kukurunu ſıuwasan (心が美しい)	fıma (島, 部落)
kataſi (形)	fına (砂)
taki (丈)	fıju fına (白砂)
takinu çikusan (丈が低い)	n:ſıa (土)
takinu takasaigata (丈が高い)	suku (底)
Φuru:gata (大きくなる)	nabinu suku (鍋の底)
hamme:ganaſi (雷)	ta:hata (田畑)
hamme:ganaſi najun (雷が鳴る)	hate: (畑)
gorogoro (ゴロゴロ)	?atai (庭の畑)
ka:ja (川)	ta: (田)
ka: (井戸)	tira (太陽)
midži nagajun (水が流れる)	tiranu ?agajun (太陽が上る)
nubujun (川をのぼる)	tiranu ?utijun (太陽が沈む)
?urijun (川を下る)	tiranu ?utiti ?itſun (太陽が沈んで行く)
haja: ka: (流れの早い川)	kumuti ?itſun (雲に隠れる)
ka:nu çitſi (川の尻)	?asatira (朝日)
midžitamai (水たまり)	ju:çi (夕日) ju:sanri tidaともいう。
Φumui (水たまり, 池)	tama (玉)
?idzun (泉)	ſıibu (粒)
taki (滝)	dži: (地面)
džin (銭)	n:ſıa (土)
kugani (黄金)	dui (泥)
gin (銀) fıjuganiともいう。	duidarake (泥だらけ)
?akagani (銅)	n:ſıa (粘土)
do:sen (銅線)	n:ſıa kuna:sun (土を練る)
harigane (針金)	tin (天)
tetsu (鉄)	çi: (日)
kumu (雲)	ſıitſi (月)
kiri (霧)	

Φufi (星)	ʔakagai (明り)
Φufinu mjannun (星が見える)	je:mi (闇)
tugati mun (尖ったもの)	ku:ʃi je:mi (真暗闇)
haru (角)	ʃa:i (ひでり)
jaʃiʃinu haru (屋敷の隔)	ʃitʃu (人, 他人)
ʃikaku (四角)	ʃibi (ひび)
maʃikaku (真四角)	ʃiju (露)
mau: (丸, 円)	ʔawa (泡)
ʃimi (隔)	ju: (湯)
tunai (隣)	sa:ju: (湯ざまし)
midʒi (水)	ju:Φuru (風呂)
duimidʒi (泥水)	ʔatʃiki (湯気)
turi (風)	ju:nu Φuttʃun (湯が沸く)
turitun (風いている)	ndzu (溝)
Φu:ka: (べた風)	tamiʔiki (ため池)
ʔarasaigata (荒れている)	mitʃi (道)
kaɖʒi (風)	jama mitʃi (山路)
namikaɖʒi (波風)	haʃi (橋)
nami (波)	kuimi (暦)
ʔusu (潮)	ʔitʃi (何時)
mitʃisu (満潮)	ʔitʃi ʃunna (いつ来るか)
ʃi:su (干潮)	n:kaʃi (昔)
ʃigainami (津波)	ʃitʃi (季節)
me:niwa (前庭)	haru (春)
hama (浜)	natʃi (夏)
ʃijusai hama (広い浜)	ʔaki (秋)
murahadʒifi (村のはずれ)	Φuju (冬)
ja:nu hadʒifi (家のはずれ)	maΦuju (真冬)
matʃi (火)	ʃʔa: (毎日)
matʃi me:jun (火が燃える)	ʃʔa: hatajaʃun (毎日働く)
kaɖʒi (火事)	me:ʔasa (毎朝)
nitʃi (熱)	me:ban (毎晩)
ʔakagai (光)	me:juru (毎夜)
Φuri (稲光)	ʃittʃi:gufi: (一日おき)
Φurijun (稲光がする)	ju:ʔakidu:ʃi (一晚中)

çititji: (一日中)	ʔatʃa:nu çitimiti (明日の朝)
ʃikama: (朝)	Φu: ju:ne: (今夜)
ʔo:nan (さっき)	ʔatʃa:nu ju:ne: (明晩)
ʔo:nan tʃan (さっき来た)	ʔasattinu ju:ne: (ささっての夜)
nʔama (今)	ʔasattinna:tʃanu ju:ne: (しあさっての夜)
nʔama tʃan (今来た)	junnagata (一晩中)
me: (前)	kuntʃitji (今月)
m:nu çi: (前の日)	daigetsu (来月)
ʔuʃi (後)	me:dʒitji (先月)
kune:da (この間)	wutufi (今年)
ʔatʃa: (明日, 翌日)	jani (来年)
ʔakʌtʃitji (暁)	na:ntʃu (再来年)
he:ʔuki (早起き)	Φudʒu (去年)
çitimiti (朝)	ntʃunati (おとし)
çitimitimun (朝食)	ʃo:ɡwatʃi (正月) ʔitʃigwatʃi (一月)
çitimitinu dʒu:dʒj maθgura (朝の10時頃)	nigwatʃi (二月)
ʔasaban (昼食)	saθɡwatʃi (三月)
çiru (昼)	ʃigwatʃi (四月)
çiruma (午後2時3時頃)	ɡuθɡwatʃi (五月)
ju:ne: (夕)	rukugwatʃi (六月)
ju:ne:gata (夕方)	çitʃigwatʃi (七月)
ju:ban (夕食)	hatʃigwatʃi (八月)
jui (夜)	kuθɡwatʃi (九月)
junaka (夜中)	dʒu:ɡwatʃi (十月)
majunaka (真夜中)	ʃimutʃitji (十一月)
Φu: (今日)	ʃiwa:ʃi (十二月)
ʔatʃa: (明月)	ti:tʃi (一つ)
ʔasati (あさって)	ta:tʃi (二つ)
ʔasatinna:tʃa (しあさって)	mi:tʃi (三つ)
tʃinu: (昨日)	ju:tʃi (四つ)
wutti: (おととい)	ʔitʃitʃi (五つ)
wutti:na:tʃa (さきおととい)	mu:tʃi (六つ)
Φu:nu çitimiti (今日の朝)	nanatʃi (七つ)
tʃinu:nu çitimiti (昨日の朝)	ja:tʃi (八つ)

kukunutʃi (九つ)
 tu: (十)
 dʒu:ʔitʃi (十一)
 nidʒu: (二十)
 sandʒu: (三十)
 ʃindʒu: (四十)
 gudʒu: (五十)
 rukudʒu: (六十)
 ʃitʃidʒu: (七十)
 hatʃidʒu: (八十)
 kundʒu: (九十)
 ʃaku (百)
 niʃaku (二百)
 sen (千)
 man (万)
 tʃʔui (一人)
 tʔai (二人)
 mittʃai (三人)
 juttai (四人)
 gunin (五人)
 rukunin (六人)
 ʃitʃinin (七人)
 hatʃinin (八人)
 kunin (九人)
 dʒu:nin (十人)
 tʃʔuke:n (一回)
 take:n (二回)
 mike:n (三回)
 juke:n (四回)
 tʃʔusara (一皿)
 tʔasara (二皿)
 misara (三皿)
 jusara (四皿)
 tʃʔumakai (一椀)
 tʔamakai (二椀)

mimakai (三椀)
 tʃʔutʃawan (湯のみ一杯)
 tʔatʃawan (湯のみ二杯)
 mitʃawan (湯のみ三杯)
 ʔikutʃi ʔanna (いくつあるか)
 tʃassa ʔanna (いくらあるか)
 mui (全部)
 mui mutʃi ʃu:ba (全部もってこい)
 katapu: (片方)
 bo:nu katapu: (棒の片方)
 bo:nu katwai (棒の片方)ともいう。
 hambun (半分)
 bai (倍)
 ʔussa (これだけ)
 ʔussa madi (これまで)
 junu ʔussa (同じだけ, 同じ量)

(6) 飲食関係の語彙

ʃitimitimun (朝食)
 dʒu:dʒidʒa: (10時頃のお茶)
 ʔasaban (昼食)
 sandʒidʒa: (3時頃のお茶)
 ju:ban (夕食)
 ʔadʒi (味)
 banʃaku (晩酌)
 ʔamidama (飴玉)
 ʔan (餡)
 ʔudun (うどん)
 so:min (そうめん)
 ʔokadzu (おかず)
 misudʒiju (味噌汁)
 nantʃitʃa: (おこげ)
 katsu:bujī (鰹節)

kamabuku (かまぼこ)
 kwe:mun (食いもの)
 kuna (粉)
 mamigu: (きなこ)
 kwattji: (御馳走)
 mun (ごはん)
 φumi (米)
 ?i:tfigumi (煎り米)
 mutfigmi (もち米)
 sakugumi (うるち米)

ke: (おかゆ)
 saki (酒)
 sata (砂糖)
 sajimi (刺身)
 ma:su (塩)
 su: (潮)
 fo:ju (醤油)
 ji: (酢) ?amazakiともいう。
 sembe: (せんべい)
 dzu:ji: (雑炊)
 tfampuru: (いためもの)
 tabaku (たばこ)
 tabaku φuttjun (たばこを吸う)
 tji:ri (きせる, 煙管)
 φudgo: (たばこ入れ)
 jani (煙管のやに)
 tabakubun (たばこ盆)
 daŋgo (だんご)
 tja: (茶)
 tja:nufin (茶柱)
 tja:gaji (お茶のだしがら)
 tjikimun (漬物)
 ?anda:gi: (てんぷら)
 namamun (生もの)
 mandzu: (饅頭)

kwa:ji (お菓子)
 watamittjan (腹がいっぱいになった)
 ?abugwe: (大食い)
 misu (味噌)
 mutji (餅)
 ma:mina (もやし)
 ju: (湯)

(7)衣服関係の語彙

?itfu: (糸)
 momen ?itfu: (もめん糸)
 kinu ?itfu (絹糸)
 hadjitji (いれずみ)「針突き」の意。
 ?ofiroi (おしろい)
 haŋgijun (おぼう)
 ?u:bi (帯)昔は普通の兵児帯で子供をおぶ
 った。kwamuja: ?u:biともいう。
 fasa (傘, 笠)
 kubagasa (檳榔樹の葉で作った笠)
 ko:morigasa (こうもり傘)
 kappa (合羽)
 kasui (紺)
 dji:wa (簪)
 tjin (着物)
 figutufi: tjin (仕事をする着物)
 kuge:djin (晴着)
 janadjin (ぼろ着)
 sudinafidjin (袖なし着物)
 φukuta: (琉球独特の着物)
 n?nagako: (おしめ)
 hadagi (肌着)
 hakama (袴)
 ?uwagi (上着)

kinudʒin (絹の着物)
 ʔura (着物の裏) ʔinnu ʔuraともいう。
 ke:ʃima: (裏返し) he:ʃima:ともいう。
 suri (袖)
 jeri (襟)
 ʔutʃukun (ふところ)
 hauri (羽織)
 wataʔiri: (綿入れ)
 ʔu:bi (帯)
 kufi (櫛) 頭虱をとる目の細い櫛
 sabatʃi (髪をとかす櫛, 目の粗いもの)
 ʔu:bi (腰紐)
 kintʃaku (財布)
 saiho: (裁縫)
 maiʃikkanagi:n (尻はしよりをする)
 mainutʃin ʃikkanagi:n (尻の着物をかな
 げる)
 kume:kiru ʃitʃu (地味な人)
 ʔaisai ʃitʃu (派手な人)
 dzukin (頭巾)
 sadʒi (てぬぐい)
 sentaku (洗濯)
 tasuki (褌)
 ta:re: (盥)
 gusan (杖)
 ti:bukui (手袋)
 ta:bi (足袋)
 dui butta: (泥だらけ)
 nunu (布)
 tammunu (反物)
 nui (糊)
 ʃatʃimun (履物)
 kumimunともいう。
 kutsu (靴)
 ʔaʃidʒa (下駄)

dzo:ri (草履) 昔は saba と言った。
 ta:bi (足袋)
 waradʒi (わらじ)
 ʔada: (裸)
 haibisa (裸足)
 hanawu: (鼻緒)
 ʃatagu: mantʃa: (片ちんば)
 ho:kamuri (頬かむり)
 ho:ga:ki:は「鉢巻」の意味に推移している。
 me:gaki: (前掛け)
 minu (蓑)
 mi:gantʃo: (めがね)
 ʔu:bigani: (指輪)
 dampatʃi (断髪屋, 理髪店)
 ʃaʃin (写真)
 ʃaʃin ja: (写真屋)
 ʃi:bisa (竹馬)
 ʔaje:jun (洗う)
 ʃimi ʔajejun (足を洗う)
 ʃija ʔajejun (顔を洗う)
 ti: ʔajejun (手を洗う)

(8) 住居関係の語彙

ja: (家)
 nitta: ja: (あなた方の家)
 wa: ja: (私たちの家)
 ja:nindʒu (家族)
 nitta: ja:nindʒu (あなた方の家族)
 wa: ja:nindʒu (私たちの家族)
 ʔuʃinu ja: (牛小屋)
 mʔmanu ja: (馬小屋)
 ʔwa:nu ja: (豚小屋)
 tuinu ja: (鶏小屋)

- ʃi: (巢)
 tuinu ʃi: (鳥の巢)
 jamme: (庭)
 janʃi: (家の後)
 ʔatai (家敷内の畑)
 haru (隔)
 ja:nu haru (家の隔)
 ʃimi (隔)
 na:dza (中座)
 ʔuinu dʒa: (上座敷)
 tuŋgwa (台所)
 ja:nu mamoi: (家の周囲)
 ja:ʔuʃi: (家を引越すこと。転居)
 kajabutʃija: (かやぶきの家)
 ka:jaja: (瓦葺きの家)
 tu:tan ja: (トタン葺きの家)
 koŋkurija: (コンクリートの家)
 ʔamadai (軒)
 ni:ke: (二階建て)
 ʔai ja: (畑の仮小屋)
 ja:nu mujun 家がもる。
 ʔisu (椅子)
 ʔumidai (踏み台)
 ʔiriguʃi (入口)
 ʔitʃimufinu ja: (蓄舎)
 ʃitʃunu ja: (人の家)
 ka: (堀井戸) チンガーない。
 katʃi (垣根)
 ʔiʃigatʃi (石垣)
 hama (かまど)
 katʃa (蚊帳)
 gadʒan (蚊)
 garasu (ガラス)
 ka:ra (瓦)
 kuja (倉)
- ʔiriguʃi (玄関, 入口)
 gumi (ごみ)
 ʔukui (ほこり)
 gumi baku (ごみ入れ)
 gumi (屑)
 ʃiki: (敷居) ʃi:ともいう。
 so:dʒi (障子)
 dʒi:ru (地炉) 最近はなくなった。
 ʔu:bu (蜘蛛)
 ʃu:bunufi: (蜘蛛の巣)
 susu (煤)
 so:dʒi (掃除)
 tatan (畳)
 tanʃi (箆筒)
 tuku (床)
 tukunuma: (床の間)
 tindʒo: (天井)
 ʔaʃi: (戸, 雨戸) ヤド系は言わない。
 ʔiriguʃi (戸口)
 takamadu (高窓)
 ʔaʃi: ku:jun (戸を締める)
 tubukuro (戸袋)
 tudana (戸棚)
 dodai (土台)
 haʃigo (梯子)
 ha:i (柱)
 nakabaʃi (襖) 「中にある戸」の意。
 butʃidan (仏壇)
 heja (部屋)
 ʔitʃibandza (上座)
 nibandza (上座の次の間)
 sambandza (上座から三番目の間)
 ʃimi (裏座敷) 沖縄ではクチャと言うが
 鳥島では言わない。
 ʔwa:wun (豚小屋) 「便所」も同じ語を用

いる。wunだけで用いることはできない。

フールは沖縄の方言である。

munu?uʔi (物置)

dʒo: (門)

jaʃiʔi (屋敷)

juka (床)

tukunuma: (床の間)

jin (縁側)

(9) 道具関係の語彙

?ita (板)

ndimun (入れ物)

?uʃi (臼)

?iʃiʔuʃi (石臼)

ʃiʔiʔuʃi (挽臼)

ʔiʃiʔuʃi (搗き臼)

mʔmanukusa (馬の草)

?uʃinukusa (牛の草)

ʧi: dʒa: nukusa (山羊の草)

kusaʔntʃiki: (飼料を置く桶)

?wa: nutagu (豚の桶)

kuwa (鞍)

mʔmanukuwa (馬の鞍)

?o: ra: (もっこ)

hanadʒina (鼻綱)

muge: (馬)

?o: dʒi (扇)

kubaʔo: dʒi (檳榔樹の葉で作った扇)

wui (桶)

midʒi tagu (水桶)

kwe: wu: ki: (肥桶)

juʔi (斧) 小さい斧。

wu: n (大斧)

kagan (鏡)

kagu (籠)

ti: ru (籠, 小さく竹で編んだもの) 背負い籠にもいう。頭に紐をかけ背負う。特に奄美大島に多い。

bai 芋を堀りに持って行く籠。

baihamiti (籠を頭にのせて)

ʃatana (包丁)

taʃi (刀)

genno: (金鎚)

gappa: (木鎚)

hamma: (ハンマー)

hama (かまど)

hagama (ごはんを炊く釜)

nabi (鍋)

hama (鎌)

kusahai hama (草刈鎌)

kamadʒi: (藁で作ったかます)

kamisori (かみそり)

midʒiga: mi (水甕)

?ittuga: mi (一斗甕)

nituga: mi (二斗甕)

kana (鉋)

?adʒin (杵)

juʔgui (餅をつくような杵)

?i: (錐)

kui (杭)

kudʒi (釘)

dai kudʒi (竹釘)

kusabi (くさび)

kwe: (鋏)

ʧijagwe: (平鋏)

mitʃiba: gwe: (三刃鋏)

musui (奠座)

ʔʃiritori (ちりとり)

- gumu (ゴム)
 so: (竿)
 ʧi: (材木)
 sakadʒitʃi (杯)
 sara (皿)
 haja:dzara (大皿)
 ku:dzara (小皿)
 sadʒi (匙)
 nubu (杓子) 昔は竹で作った。
 miʃige: (ごはんを入れる杓子)
 nabige: (おつゆを入れる杓子)
 so:ki (ざる)
 dʒu:baku (重箱)
 dʒo:gu (漏斗)
 suki (鋤)
 ʧija (へら)
 ʔu:biʒa (大きなへら)
 sumitawara (炭俵)
 suribatʃi (すり鉢)
 suribo: (すりこぎ)
 seiro: (せいろ, 蒸籠)
 mutʃi mbusa: (餅をむすもの)
 rampu (ランプ)
 saun (石鹼)
 odzen (お膳)
 dʒin (膳) 四角で高いもの。
 tʃabun (膳) 円い膳でお茶を出すもの。
 ta:re: (盥)
 mo:so: (たわし) 縄などで巻いて作ったもの。
 dzo:kin (雑巾)
 dakkokki (脱穀機)
 tsukue (机)
 tʃina (網)
 waidʒina (藁網)
 roppudʒina (棕網)
- tʃiribafi (つるはし)
 ʃindai (食卓) ʃokudai と言うこともあ
 る。
 ti:ri (手入れ)
 kanigara (てこ) 鉄で作ったもの。
 ʧi:gara (てこ) 木で作ったもの。
 tippu: (鉄砲)
 bo: (棒) 天秤棒。
 ʃatamijun (担ぐ) hatamimba (担げ)
 na:kamo:ʃi: (荷を中にして二人で担ぐこ
 と)
 ʃamijun (頭にのせる)
 ganʃina (頭で荷を運ぶ時, 安定させるため
 に下に敷くもの) 藁で作る。
 tukkui (徳利)
 midʒidukkui (水徳利) ʧandu:という
 大甕があった。大きな口を有する。ʧandu:
 gamiとも言った。
 sakidukkui (酒徳利)
 misudukkui (味噌徳利)
 徳利は最近文化財と言って持ち去って行く。
 ほとんど家には残っていない。
 ʧu:dʒo: (たばこ入れ)
 ki:ʧu:dʒo: (木で作ったたばこ入れ)
 dumbui (どんぶり)
 nabi (鍋)
 ʧiʒgu (鍋ずみ)
 nabiʔutʃi: (鍋敷) 鍋を置くもの。
 普通は藁で編んだもの。nabifiki: と
 いう。
 tamun (薪)
 jura (枝)
 maruta (丸太)
 me:kafi (もえさし) 「燃えかす」という表
 現。

- fimi (炭)
 me:figara (燃え残った炭)
 fe: (灰)
 dʒi:ru (地炉)
 nu:dʒi: (鋸)
 nu:dʒi:nukafi (おが屑)
 kanna (鋸)
 kannanukafi (鋸屑)
 numi (鑿)
 nui (糊)
 ʔakai (秤)
 mi: (秤の目方) ʔmi: (一目)
 tʔami: (二目) mimi: (三目)のよう
 に言った。
 ʔaku (箱)
 me:fi (箸)
 ʔasan (鉢)
 sara (皿)
 ʒibatʔi (火鉢)
 ʒi:ba:ʒi (火箸)
 ʔai (針)
 mimi (針の穴)
 ʔaigani (針金)
 nunu (布)
 ʔukui (袋)
 ʔuta (蓋)
 nabinuʔuta (鍋の蓋)
 ʔu:ka:nuʔuta (きゅうすの蓋)
 ka:minuʔuta (甕の蓋)
 ʒimme:nabi (芋を煮たりする大鍋)
 ʒimme:nabinuʔuta (大鍋の蓋)
 ʒi:no: (ふるい)
 ʔurufiki (ふろしき)
 ʔu:ru (ふとん)
 dzabuton (座ぶとん)
- ʔi:ja (へら)
 ho:ʔji (箒)
 bo: (棒)
 ʔubun (盆)
 makkwa (枕)
 ʔjiga (柵)
 ʔiʔjigo: ʔjiga (一合柵)
 nigo: ʔjiga (二合柵)
 ʔissu ʔjiga (三合柵)
 ※「馬鋏」は応答がない。
 manatʔa (まな板)
 ʔjikidʒi (マッチ)
 mi:dzo:ki: (箕)
 musui (筵)
 musui ʔamun (筵を編む)
 nikubuku (藁筵)
 mugiwara (麦わら)
 jumija (弓矢)
 ʔo:ra: (もっこ)藁で編んだもの。
 monosafi (物差し)
 juwakaʒi (湯わかし)
 jakkwan (やかん)
 ʔu:ka: (急須)
 dampu (ランプ)
 kakurampu (外出用の四角のランプ)
 ʔuja (火屋) dampunuʔuja という。
 ro:soku (ローソク)
 tu:ru (燈籠)
 ʔo:ʔjin (ちょうちん)
 makai (碗)
 mifiwan (ごはんを盛る碗)
 ʒijuwan (おつゆを入れる碗)
 ʔawan (茶を注ぐ湯のみ)
 ʔami (網)
 ʔaʔka: (錨) ʔikai とも。

ʔifiʔaŋka: (石で出来た錨)
 ʔwe:ku (襪)
 ʃindu: (船頭)
 ʔi:nui (前乗り)
 nakanui (中乗り)
 tumunui (後乗り)
 ʔuni (船)
 ʃi: (舳先)
 tumu (艫)
 ʔu: (帆)
 ʔafija (帆柱)
 ʔudʒumu (鋸)
 ʔumintʃu: (漁師)
 ʔutʃige: (櫓)

(10) 労働関係の語彙

ʔamma (あんま)
 ʔifa (医者)
 nʔnihai (稲刈)
 nʔniʔuʃi (稲干し)
 ʔuetsuki (植付け)
 nʔni ʔui (稲植え)
 ʔuni (畝)
 jagui (掛け声)
 dʒin (銭)
 ʔe:kinʃu (大金持ち)
 ʃinsu:mun (貧乏者)
 janamun (悪者)
 kandʒa:sa: (鍛冶屋)
 gafi (飢饉)「餓死」という表現。
 jamakui (木こり, 樵)
 jamakwe:とも言う。山を荒すので「山を食う」という語源意識を持っている。

juɡaʔu: (豊作)
 gafi (凶作 飢饉)
 kusa (草)
 kusatui (草取り)
 kusahai (草刈り)
 kusui (薬)
 gekkju: (月給)
 kusuija: (薬屋)
 kusakunin (小作人)
 munʔu:wa: (乞食) munuku:jaともいう。
 kudʒike:dʒin (小遣銭)
 ʔumija: (米屋)
 dze:san (財産)
 tsukuimun (作物)
 satadzukui (砂糖製造)
 juima:ru: (労働交換)
 dzaŋgjo: (夜なべ)「残業」という新語を用いる。
 ʃigutu (仕事)
 ʃitaku (仕度)
 dʒinufi (地主)
 ʃijo: (日傭)「ひやとい」のこと。
 ʔukka (借金)
 ʃo:baɪ nin (商売人)
 ta:hata (田畑)
 ta:no:ʃi 田のしろかき)
 nni ʔui (田植)
 ta:ke:ʃi (田起こし)
 daiku (大工)
 kʔwe:su (堆肥)
 to:wa (俵) ta:raともいう。to:waの
 ように第1音節のto:は奄美方言に通じる現象である。
 tsurifin (釣銭) ke:ʃiともいう。
 ti:nare: (手習い)

timagwa: (手間) gwa:は指小辞。

çima (暇)

çimada:i (暇をかけること)

nʔnidani (苗)「稻種」という表現。

na:ʃiru (苗代)

kaʔkara: (鳴子) kakaʃine:ʃi (かかし
のように) gaʔgara:ともいう。

kakaʃi (かかし)

nandʒi (難儀)

de: (代) de:ka (代価)ともいう。

ʔate: ʃigutu (畑仕事)

ʔate: (畑)

numija: (飲み屋)

hana ʔugati (牛など鼻に穴をあけて)

hana dʒina (鼻とりの縄)

timatui (手間取り) çijo:ともいう。

kʔwe:su (牛, 山羊などの肥料)

çinsu: (貧乏)

ʔe:ʃintʃu (金持)

mabiki (間引き)

ʃatakufi (苗が濃い, 密生している)

mudʒi matʃi (麦蒔き)

mutʃi dʒukui (餅作り)

mutʃi tʃitʃui (餅をつく)

jaduja: (宿屋)

ja:nuʃi (家主)

ta: ʃigutu (田の仕事)

ʔate: ʃigutu (畑の仕事)

jama ʃigutu (山の仕事)

jama (畏)

ʔwentʃujama (鼠をかける畏)

jama çikkakiti (畏をかける)

(11) 祭遊関係の語彙

matʃiri (祭り)

ʔu:to:tu ʔa:to:tu (祈願する時のはじめの言葉。「これも尊しあれも尊し」の意。

kamisama (神様)

wugami (拝み)

ju:ri: (幽霊)

mabui (人魂)

tamagai (火魂)

ʔamagui (両乞い)あまりやらない。

ʃo:ʒwatʃi (正月)

kadomatsu (門松)昔はやらなかった。

ʒwantan (元旦)

çigan (彼岸)

wakamidʒi (若水)

ʔotoʃidama (お年玉)

saʔʒwatʃi sannitʃi (三月三日)

jeisa: (七月エイサー)

ha:ri: (五月四日爬龍船)

tufin ju:ru: (大晦日)

ʔi:je: (位牌)

ʔaka (墓) ʃindʒuとも言う。「先祖」が墓の意に変わった。

dʒigoku (地獄)

gokuraku (極楽)

so:ʃiki (葬式) dabiともいう。ソーレーとは言わない。

ni:bitʃi (結婚)

sakimui (婚約)

ʔuta (歌)

wudui (踊り)

jempitsu (鉛筆)

ʔotedama (お手玉)

bo:kui (かくれんぼ)

ʔattʃi:ʔkwa: (かけっこ)

kataʔaʃi: (片足とび)
 ʔagata:me: (肩車)
 kudʒiʃitʃi (籤引き)
 koma (こま, 独楽)
 nare:ʃun (稽古をする)
 sanʃin (三味線)
 ʔumi (海)
 ʔumi kudʒi (潮干狩) ʔisuθke: ʔitʃun
 (海に行く)
 hamagui (蛤)
 wudui (踊り)
 dʒaθkempon (じゃんけん)
 ʔuidʒiθkwa: (水泳)
 sudzuri (硯)
 suberidai (すべり台)
 sumi (墨)
 ʃima (相撲)
 ʃidʒin (太鼓)
 ʔo:daiko (大太鼓)
 takemʔma (竹馬) ʃi:mʔma (木馬)と
 もいう。
 ka:ba: (凧)
 ʃinaʃitʃi (綱引き)
 dʒi: (字)
 tigami (手紙)
 hagaki (葉書)
 ʃinaʃui (縄とび)
 mindʒo: (人形)
 ʃi:samagai ʃi (寒さでちぢこもっている)
 ʃudi (筆)
 mamagutu (ままごと)
 ʔomotʃa (おもちゃ) ʃi:munともいう。
 mai (毬)
 midʒi (水)
 karuta (かるた)

pattʃin (めんこ)
 patʃiθko (ビー玉)
 jubikiri (ゆびきり)
 ʔu:bigaki: が方言。
 ʃaθku: (おはじき)
 tabi (旅)
 ʔutʃina: tabi (沖縄旅)
 jamatu tabi (大和旅)
 mura (村)
 ʔuinumura (上の村) 仲地など久米島本来
 の村をいう。
 ʃima (島) 「村・集落」の意にもなる。

語彙その2. 動詞語彙

(1) 動静の語彙

○ゆれうごき
 うごく
 mimajunu ʔuntʃi (眉がうごく)
 ʔuntʃun (動く)
 kui ma:nu ʔuntʃi (車がうごく)
 du: ʔuθkaʃi (体をうごかす)
 ʔiʃi ne:ʃi ʔuθkan (石のように動かない)
 kutʃi ʔuθkaʃiba (口をうごかす)
 ゆれる
 ʃuninu ʔuntʃi (舟がゆれる)
 ni:ʃa:gi:nu ʔuntʃi (ぶらんこがゆれる)
 hadʒi ʃutʃi ja:nu ʔuntʃi (風が吹いて家
 がゆれる)
 nninu ʃu:nu ʔuntʃi (稲の穂がゆれる)

sa:dʒinu hadʒi na: ʔuntʃi (たおるの端
がゆれる)

ゆする

tʃinʃi ʔuθkatʃi (膝をゆする)

ふる

ti: ʔuti (手をふる) ʔujun (振る)

kubi ʔuti (首をふる)

hata ʔujun (旗をふる)

ふるえる

du: ʔuti (体をふる)

かく

du: hatʃi (体をか)

はねる

※ wurujun (踊る)

※ tundʒun (跳ぶ)

※ hanijun (はねる)

ʔijunu wuruti (魚がはねる)

ʔusaginu tudi (兎がはねる)

rui haniti (泥をはねる) ntʃa (土)

gata:nu tudi (ばったがはねる)

ゆらぐ

ʔatʃikinu ndʒiti (湯気が出た)

ʃirainu hadʒi na: ʔuntʃiʃi (すだれが風
にゆらいだ)

kusanu hadʒina: nabitʃi (草が風にゆら
いだ)

うねる

naminu juriti (波がゆれる)

naminu ʔaikufi (波がある)

○まえすすみ あとざさり

すすむ

me:θke: tu:ti (前にすすむ)

me:θke: ʔattʃi (前にあるく)

ʔuninu tu:ti (舟がすすむ)

ʔwa:biθke: ʔagati (上にあがる)

あらわれる

habunu ʔndʒiti (蛇があらわれる)

bako: ʔitʃaise: tʃijana ʔarawari:n(う
そを言うと顔にあらわれる)

ばれる

bako:nu bariti (うそがばれる)

ひっこむ

ja:na: ʃikkudi (家にひっこむ)

nitʃi samati (熱がさめる)

ʔattani ti: ʃikkumitan (急に手をひっ
こめた)

かくれる

tʃitʃinu kumuθke: hakuita: (月が雲に陰
れた)

kwagama:ga ʃi:θke: hakuita (子供が
木に れた)

nusurunu ʃindʒitaʃiga mʔmana: hakui
ti (どろぼうが逃げたがここに隠れている)

bo:kui (かくれんぼ)

bo:kui sa: (かくれんぼしょう)

○いきき

い く

gakko:ðke: ?itʃa (学校へ行こう)
 ʃima hanaiti ndʒi (島を離れて行った)

それる

hadʒinu handiti (風がはずれた)

はなれる

ja:ðka: hanaiti (家から離れる)
 tuigama:nu ʃi:ðka: hanaiti (鳥が巣から離れる)
 ?ujakkwa hanai banai ʃi (親子離れ離れして)
 ?ujakkwa na:hai bai ʃi (親子離れ離れして)

Φuninu ʃitʃiðka: hanaita: (舟が岸から離れた)
 jumija hanatʃi (弓矢を射った)

とおのく

?unu ʃigutuðka: tu:nuʃi (その仕事場からとおのく)
 ?umaðka: dumba (そこからどけ)
 duiti mmi (どいてごらん)
 duiti kunsomba (どいてください)
 duiti kumba (どいてくれ)
 ?isu duwaʃiba (椅子をどけよ)

へだたる

ʃirati (へだたる)
 ?anu ʃitʃuntatu dufi ?ajan (あの友達と友達ではない)
 ʃirati (へだたる)

taitu jatin ju:sun ra: (誰とでもよくするよ)

く る

ʃitʃunu ʃun ro: (人がくるよ)
 ʃenʃeiga ?wajun ro: (先生がいらっしゃるよ)
 wu:ðʒinu ?ujui ʃitʃira: (さとうきびを植える時期だ)
 tigami ʃanra (手紙がきた)
 mata ʃanruwa: (また来たよ)

つ く

Φuninu hamaðke: ʃitʃanra: (舟が浜に着いた)
 ja:ðke: ʃanro: (家に来たよ)

くつつく

mutʃinu ti:na: takkwati (餅が手にくつつく)
 kwagama nu ʃittʃa: ðke: ʃittʃunra: (子供がお父さんにくつついているよ)

ちかずく

Φuninu ʃikakunatan ro: (舟が近くなったよ)
 Φuninu mjanrunro: (舟が見えるよ)
 ʃo:gwatʃinu ʃikajutanro: (正月が近付いたよ)
 ʃi:nu ʃikakunati (日が短くなった)
 Φuninu na:haðke: ðke:ti (舟が那覇へ向かった)
 tu:saðke: ndʒaʃi (遠くへ行った)
 na:ga ndʒaise: kumain ruwa: (あなたに行かれては困るよ)

よる

?u?finu ?fi:je: suba?ke: jumba (牛が来るから側へよれ)

?igutu?ka:nu ke:i mat?ija?ke: nd?i
(仕事の帰りに店屋による)

おしよせる

naminu juti ?fun (波がよってくる)
datin ?it?unu ?wain ra:(たくさん人が
いらっしゃるね)

いらっしゃる

?i?fanu ?wain ro:(医者がいらっしゃる)

うかがう

nitta: ja:?ke: tsu?kina:(あなたの家
うかがいますからね)

よろめく

?it?akiti (つまずいて)
mbuika:bui ?i(よろめく)

もどる

mutunu mit?i ka: ke:ti (もとの道から
もどる)

かえる

ja:?ke: ke:ufi (家にかえる)
?ima ?ke: ke:jufi (島にかえる)

ひきかえす

junumit?i?ka: ?ikke:tfi (同じ道からひき
かえす)
nd?afiga tot?u:na: murut?i ?a:(行っ
たけれど途中でもどってきた)

ひひきあげる

jamatu?ke: ?it?i ?agiti (本社へひきあ
げる)

まわる

mi: migo:tafi (目がまわる)
?undo:ba migo:tafi (運動場をまわる)
na:ha migo:tafi (沖縄をまわる)
?i?igat?i migo:tafi (石垣をめぐる)

かよう

gakko:?ke: hawu:ti (学校に通う)
bjo:i?ke: hawu:ti (病院に通う)

ちる

?it?unu ?at?imati ke:tafi (人が集まっ
てかえた)
hananu ?utiti (花がちる)

あつまる

mat?inu suba?ke: mu?inu ?at?i mati
(火の側に虫が集まって)

さまよう

jamand?i mausatti (山へ行って迷わされ
て)「迷った」の意。

うろつく

tuinuja:nu suba?ka: tuka:nu ?at?i
(鳥小屋の側から猫がうろつく)

ただよう

?uninu nagaiti (舟が流れて)

のぼる

jamaŋke: nubuti (山にのぼる)
 ʧi:ŋke: nubuti (木にのぼる)
 ja:nu ʔuiŋke: nubuti (家の上へのぼる)
 sakaŋke: nubuti (坂にのぼる)

の る

ʔumaŋke: nuti (馬にのる)
 kurumaŋke: nuti (車にのる)
 ʧuniŋke: nuti (舟にのる)

あがる

ni:ke:ŋke: ʔagati (二階にあがる)
 dza:ŋke: ʔagati (座敷にあがる)
 ʔumi jamiti hau ʃi (海仕事をやめて畑
 仕事をする, 漁師をやめて農業をする)
 hate: ʃi (畑をする)ともいう。
 ʃigatu ʔuwati (仕事がおわる)
 munnu ʔagati (物価があがる)
 niʃi ndʒiti (熱が出る)
 ʧibuʃinu ndʒiti (煙がでる)
 ʧibuʃi ʔagati (煙があがる)
 ʔami ʧuti (雨がふる)
 ʔami haita: (雨があがった)「晴れた」と
 表現する。
 wata: no:ta: (腹痛がなおった)

やめる

ju:kuiti ʃigutu jamita: (日が暮れて
 仕事をやめた)

かかげる

hata ʔagita (旗をかかげた)

う く

ʧuni ʔukadi (舟がういた)

〇 たちい

ある
 dʒinnu ʔan ra: (金がある)
 dʒinnu manri (お金がたくさんある)

い る

ʔamma:ga wun ra: (お母さんがいるよ)
 ʔamma:ga wuʃi (お母さんがいる)
 ʃiʃa: wun ra: (お父さんがいる)
 ʔinnu wun ra: (犬がいる)

た つ

ʧiʃunu tattʃuʃi (人がたっている)
 ʧibuʃi ndʒiti (煙がでて)

すわる

tataminu ʔuina: wiʃi (畳の上ですわっ
 て)

かがむ

wuʃi magiti (腰をまげて)

つまさきだち

takabisa: (つまさきだち)
 ʃininu satʃi bika:ʃi tattʃi (足先だけ
 であつ)

すべる

rui na: nudʒi:ti (泥にすべる)
 nudʒi:n ro: (すべるよ)
 rui na: manri (泥にころぶ)

は う

kwanu ho:ti (子供がはう)

habunu ho:ti (蛇がはう)

あるく

nagamata ſi ʔattʃi (大股であるく)

いそぐ

gakko:ŋke: ʔawatiti (学校へいそぐ)

ʔawatiti ʔuirijo: (急いで起きよ)

he:ku ʔuirijo: (早く起きよ)

はしる

ʔunro:kwai na: ʔattʃi (運動会ではしる)

かける

ʔumanu haiſi (馬がかかる)

ʔattʃikwa: (かけっこ)

ʃitʃa ʔutʃintʃi ʔattʃi (下をうつむいてあるく)

ʃikkudi (しゃがむ)

ʔuttʃintʃi (うつむく)

tuntatʃi ji: (しゃがむようにして尻を地につけずに坐る)

ʃitʃamadʒi: (正座)

ʃini ʃijukuri (足がしびれる)

ʔuiŋke:ti (上を仰ぐ)

jin ro: (坐るよ) jittʃi (坐って)

とぶ

tuinu turi (鳥がとぶ) tumbun ro:
(飛ぶよ)

およぐ

ʔijunu ʔuidʒi (魚がおよぐ)

ころがる

tamanu ʔubaiti (玉がころがる)

ʔubain ro: (ころがるよ)

mittʃi wakkufi (道が悪い)

たおれる

ʃi:nu ruge:ti (木がころぶ, たおれる)

つまずく

ʔifina ʃittʃakiti (石につまずく)

ひっくりかえる

ʔuninu ʔukke:ti (舟がひっくりかえる)

ʃawan ʔukke:tʃi (湯のみをひっくりかえした)

ʃawan ʔusubatʃi (湯のみを重ねる)

くじく

ʃini jamatʃi (足をくじいた)

kubi ʃidʒowati (首をすじちがいにする)

ʃibuſi matʃa:tʃi (煙がもうもうとたつ)

うまる

ji:munnu ntʃana: ʔumati (おもちゃが土にうまる)

よろめく

saki nudi wuitʃi:ti (酒を飲んで酔っている)

とまる

ʃitʃunu ʔattʃi tumati (人があるいて、とまる)

nagarinu tumati (流れがとまる)

basunu tumati (パスがとまる)

ながれる

ka:raga nagaitun (川がながれている)
 çi:nu nagaiti tjun (木がながれてくる)
 me:çi:tjiðka: ?afinu nagaitu (額から汗
 がながれている)
 jakkwaðka: midži nagaisun (やかんから
 水をながす)

もる

?fu:ka: ðka: midžinu mujun (きゅうすか
 ら水がもる)
 ja:nu muiti (家がもる)

ふきでる

midžinu ðuti ndžiti (水がふきでる)
 ?afi nditi (汗がながれる)
 ?afi so:naifi (汗がすごくながれる)

しみる

kusuinu mi:ðke: suðkudi (薬が目にしみ
 る)
 çiðžui midžinu ha:ðke: suðkudi (冷水
 が歯にしみる)

ぬれる

?amiðke: nditi (雨にぬれる)

ひたる

?usumidžina tjiðgato:n (潮にひたる)
 kubi madi ju: na: tjiðgati (首まで湯
 にひたる)

つける

juguitjin midžina: tjikiti (汚れ着物を
 水につける)

さす

?anda sasun (油をさす)
 mi: gusui ndun (目薬をさす)

つぐ

sakaðžitjiðke: saki tjidžun (杯に酒をつ
 ぐ)

こぼす

tja: kubutji (お茶をこぼす)
 sata kubusun (砂糖をこぼす) 共通語的。
 tjiarakasun (ちらかす) がよい。
 nara nagatji (涙をながして)
 nara ndžatji (涙を出して)

あふれる

midžinu bakiðka: ?abuiti (水がバケツ
 からあふれる)
 ka:janu midžinu abuiti (川の水があふ
 れて)

○でいり

はいる

dza:ðke: ?ijun (部屋にはいる)
 ro:ðžiðkaiðke: ?ijun (老人会にはいる)
 mi:ðke: guminu ?itji (目にごみはい
 る)

いれる

ðukui ðke: ndun (袋にいれる) ?itti
 (入って)
 ðutjikuðke: ?idun (ふとこにいれる)
 tja: ndun (茶を入れる)
 tja: tjidži (茶を注ぐ)

matʃi ndun (火をいれる)

でる

jamme: ke: ndʒiti (外にでる)

ja:ŋka: ndʒun (家のでる)

gakko: ndʒiti (学校のでる)

nikunnu ndun (にきびがでる)

nikunnu ndʒiti (にきびがでる)

sukkuinu ndʒun (咳がでる)

だす

dʒin ndʒiti (銭がでる)

dʒin ndʒatʃi (銭をだす)

ʃiʃa ndʒatʃi (舌をだす)

tigami ndʒatʃi (手紙をだす)

dʒin ndʒatʃi (膳をだす)

ʃabun ndʒatʃi (円い膳をだす)

つれだち

ho:mun ʃi:ga so:ti ʔittʃun (買物につれていく)

ʔinso:ti ʔittʃun (犬をつれていく)

senseiga seito so:ʃi ʔittʃun (先生が生徒をつれていく)

kwanʃa: ʃike:ti ʔittʃun (子供をつれていく)

やる

dʒin kuitaʃi (お金をやる)

tuinumun kwa:ʃi (鳥の餌をやる)

よこす

hendʒi sun (返事をする)

hento: sun (返答する)

おくる

kodzutsumi ʔukuti (小包をおくる)

ʃitʃu ʔukuti (人をおくる)

ʃitʃu miokuriʃi (人を見送りする)

とどける

mija:gi kuiti (おみやげをくばる)

mija:gi kuin ro: (おみやげをくばるよ)

○もちほこび

おぶう

kwa haŋgiti (子供をおぶう)

kwa haŋgin ro: (子供をおぶうよ)

せおう

nimutʃi mutʃi (荷物をせおう)

かつぐ

ʔumi ra:ra hatamiti (米俵をかつぐ)

bo:ʃi hatamiti (棒でかつぐ)

hatamini: (かついだ荷)

もつ

nimutʃi mutʃi (荷物をもつ)

dʒin mutʃi

tudʒi tume:ti (妻をもつ)「娶る」の意。

wutu mutʃi (夫をもつ)「嫁ぐ」の意。

さげる

kaban sagiti (かばんさげて)

ʃo:ʃin sagiti (ちょうちんさげて)

はこぶ

ntʃa hakudi (土をはこぶ)

のせる

hamin ro: (頭にのせるよ)

(2)変容の語彙

わる

garasu wati (がらすをわる)

tamunu wati (薪をわる)

dai wati (竹をわる)

bu:ka: waiti (風船をわる)

bu:ka: ɸugati (風船をわる)

くだく

?ifi kudatʃi (石をくだく)

?ifi kuratsun ro: (石をくだくよ)

ko:ri wati (氷をわる)

nʃa kunatʃi (土を細くする)

つぶす

mufi kumpiratʃi (虫をつぶす)

こわす

?a:nu ku:iti (家がこわれて)

ja: jabuiti (家がやぶれた)

kuruma:nu ku:in (自動車がこわれる)

haku jabuti (箱がこわれる)

du: wakkunati (体をこわす)

nʃa ku:iti (土がくずれる)

jamanu ku:iti (山がくずれる)

ʃintʃi jabuiti (天気がかくずれる)

やぶる

ʃo: dʒi jabuiti (障子をやぶる)

ɸukuinu jabuiti (袋がやぶれる)

さける

kannainu ?utiti ɕi:nu sakiti (雷がおちて木がさける)

ɕi:nu duge:ti (木がたおれる)

ʃin sakiti (着物がさけて)

かく

ʃawan hakiti (湯のみがかける)

sabatʃinu ha:nu hakiti (櫛のはがかける)

kansuinu ha:nu hakiti (剃刀の刃がかける)

katʃu: ɕidʒun ro: (鏝節をけずるよ)

おる

hainu wuiti (針がおれる)

わける

kwa:ʃi waiti (菓子をわける)

きる

?i:ʃu: ʃiriti (糸がきれる)

hasanʃi ɕimo ʃittʃi (鋏でひもをきる)

ʃimi ʃittʃi (爪をきる)

きざむ

tabaku kidzadi (たばこをきざむ)

けずる

?empitsu ɕidʒiti (鉛筆をけずる)

かる

kaidʒi ʃimiti (髪をかる)

kusa hati (草をかる)

nni hati (稲をかる)

そ る

ɕidʒi suti (髻をそる)

むしる

kusa muʒiti (草をむしる)

つ む

hana ʒiri (花をつめ)

mami muti (豆をもぐ)

kunubu muti (みかんをもぐ)

ひ く

ɕi: ʒitʒi (木をきる)

おろす

jasai kidzari (野菜をきざむ)

す る

ʒuguma ʒiti (ごまをする)

と ぐ

hatana tudʒi (庖丁をとぐ)

みがく

do:gu migatʒi (道具をみがく)

nabi migatʒi (鍋をみがく)

ha: tudʒi (歯をみがく)

ぬ く

ʒijagi nudʒi (白髪をぬく)

kudʒi nudʒi (釘をぬく)

suku nugiti (底がぬけた)

ʒimi nugiti (爪がぬけた)

む く

ka: ntʒi (皮をむく)

ʒijunu ʒi:ʒi hadʒi (魚の鱗をはぐ)

ʒurunuka: hagiba (ふとんの皮をはぐ)

まがる

hariganinu magati (針金がまがって)

kudʒinu magati (針がまがって)

ためる

dai tamiti (竹をためる)

ɕi:nu satʒi magati (木の先がまがって)

からまる

hariganinu matʒibuti (針金からまる)

つねる

ʒini ʒimitʒiti (足をひねる)

かたむく

haminu hatantʒi (壺がかたむいて)

へこむ

mi: ɕikkudi (目がへこんで)

くぼむ

mitʒi kubudi (道がくぼんで)

ほ る

mmu ʒuti (芋をほる)

かれる

kusa haiti (草がかれて)

hana nu haiti (花がかれて)

hana nu ʒibudi (花がしぼんで)

しなびる

mmu haiti (芋がしなびる)

やせる

du:nu jo:gaiti (体がやせて)

ふくれる

tʃija ʃukuiti (顔がふくれて)

ti ʃisa ʃukuiti (手足がふくれて)

こえる

tʃikaguro: kwe:ti (近頃はこえて)

ntʃa kwe:ti (土がこえている)

はる

wata hati (腹がはる)

うむ

hasanu ʔuriti (はれものがうむ)

はらむ

ʔufinu kasagiti (牛がはらんでいる)

つかれる

ʃu:ja daiʃi:ta: (今日はつかれた)

(3) 着用の語彙

きる

tʃin tʃi:ʃi (着物をきる)

はく

ʔaʃidʒa kuri (下駄をはく)

hakama haku (袴をはく)

かける

ʃuton habuti (ふとんをかける)

denwa haiti (電話をかける)

tokei haiti (時計をかける)

はめる

jubiwa hamiti (指輪をはめる)

tebukuro hatʃi (手袋をはく)

かぶる

bo:ʃi hanti (帽子をかぶる)

hasa hanti (笠をかぶる)

men hanti (お面をかぶる)

ka:nu midʒi hanti (川の水をかぶる)

しめる

ʔu:bi kuntʃi (帯をしめる)

hatʃimaki kuntʃi (鉢巻をしめる)

ko:ga:ki: ʃi: (鉢巻をしめる)

sanadʒi ʃʃi (ふんどしをする)

つける

botan hamiti (ボタンをする)

kaidʒiʃhe: ʔanda tʃikiti (髪に油をつける)

ʃidʒiʃke: kusui tʃikiti (傷に薬をつける)

ʔoʃiroi tʃikiti (おしろいをつけて)

さす

dʒi:wa: saʃi (かんざしをさす)

haisaʃi ʃke: hai saʃi (針さしに針を

さす)

ndʒi kuramitʃi (とげをふんだ)

しく

musui ʃitʃi (筵をしく)

dʒari ʃitʃi (砂利をしく)

まとう

tsujadʒin ʃitʃi (晴着をきる)

むすぶ

ʔu:bi musudi (帯をむすぶ)

ti: tuti (手をむすぶ)

ʔi:ʃu: kuntʃi (糸をむすぶ)

つなぐ

ʔuni ʃinadʒi (舟をつなぐ)

ti: ʃitʃi (手をつなぐ)

ʔin ʃinadʒi (犬をつなぐ)

すげる

ʔafidʒanu wu:ʃikiti (下駄の緒をつける)

hamanu ji: ʃigiti (鎌の柄をつける)

つかむ

ʔiju hatʃimiti (魚をつかむ)

ʔujanu ti: hatʃi miti (親の手をつかむ)

nusuru hatʃimiti (どろぼうをつかむ)

tuka:ga ʔwentʃu ku:ti (猫がねずみをくわえて)

ゆう

kaidʒi ju:ti (髪をゆう)

ゆわえる

nimutʃi kuntʃi (荷物をゆわえて)

たばねる

kusa kuntʃi (草をたばねる)

tamun kuntʃi (薪をたばねる)

つつむ

kwa:ʃi ʃi:n ri (菓子をつつむ)

ʔurufiki ʃi kuntʃi (ふろしきでつつむ)

たたむ

ʃin takuri (着物をたたむ)

hasa tatari (傘をたたむ)

かたずける

ja: katadʒikiti (家をかたずける)

ʃigutu katadʒikiti (仕事をかたずける)

do:gu kataʒikiti (道具をかたずける)

(4) 火熱の語彙

もえる

matʃi me:ti (火がもえる)

ʔunu tamuno: ju: me:in (この薪はよくもえる)

gumi me:ʃi (ごみをもやす)

たく

gohan tatʃi (ごはんをたく)

mʔmu nitʃi (芋をにる)

つける

ro:soku ʃikiti (ローソクをつける)

あぶる

ʔitʃa ʔabuti (いかをあぶる)

ti: ʔabuti (手をあぶる)

やく

jama jakiti (山がやける)

ja:ʃu: jatʃi (炙をすえる)

mutʃi jatʃi (餅をやく)
 ʃifi jatʃi (肉をやく)
 ʔuga jatʃi (卵をやく)
 mmu jatʃi (芋をやく)
 nantʃitʃa: nati (おこげになる)
 ʔanra:gi: jatʃi (てんぷらをやく)

いためる

tamana: ʔi:tʃi (キャベツをいためる)

いる

mami ʔi:tʃi (豆をいる)

わかす

ju: ʔukatʃi (お湯をわかす)
 tʃa: wa:tʃi (お茶をわかす)
 miʃinu ʃiju ʔukatʃi (ごはんの汁を
 わかす)

ゆでる

ʔuga juditi (卵をゆでる)

ゆがく

ʔibi juge:tʃi (海老をゆがく)
 ʔitʃa juge:tʃi (鳥賊をゆがく)
 de:kuni juge:tʃi (大根をゆがく)

せんじる

nage: ʃidʒiri (長くせんじろ)

たぎる

ju: muge:ti (湯がたぎる)

にる

ʔiju nitʃi (魚をにる)
 mami nitʃi (豆をにる)
 misufijunu ʃidʒi:tʃiti (味噌汁がにつま
 る)
 ʔakaʔuban nitʃi (赤飯をにる)
 mutʃi mbutʃi (餅をむす)
 gohan mbutʃi (ごはんをむす)

けむる

ʒibufi pu:naiʃi (煙が多い)

あたる

matʃi ʔke: ʔatati (火にあたる)

(5) 飲食の語彙

たべる

muʔkwe:ʃi (食物をたべる)
 gadʒanni ku:watti (蚊にさされる)

くう

ʔuʃinu kusa kwe:ti (牛が草をくう)
 tuinu mun kwe:ti (鳥が餌をくう)

のむ

saki nuri (酒をのむ)
 midʒi nuri (水をのむ)
 kusui nuri (薬をのむ)
 tabaku ʔutʃi (煙草をのむ)

かむ

gohano: ju: hari kwe:ruwa: (ごはんは
 よくかんでたべなさい)

?inni ku:watti (犬にくわれた)

habuni ku:watti (蛇にかまれた)

かじる

?wentʃunu mmu ha:dʒiti (ねずみが芋をかじる)

なめる

?amigwa:kwe:ti (飴をなめる)

すう

tʃi:kwe:ti (乳をすう)

tʃi:nuri (乳をのむ)

すする

ke:kwe:ti (お粥をすする)

ふくむ

midʒi ku:ti (水をふくむ)

mahara:nati (あおむけになる)

語彙その3. 形容詞語彙

nagakufi (長い)

?intʃakufi (短い)

jempitsu nu ?intʃakufi (鉛筆がみじかい)

tʃibui jadi (頭がいたい)

gumakufi (小さい)

kuje:gumakufi (これは小さい)

ʃukufi (大きい)

mi:ʃukufi (目が大きい)

?uʃukufi (大きい, 太い)

ʃitʃikufi (薄い)

?atʃikufi (暑い)

?ibakufi (狭い)

ʃijukufi (広い)

tʃikasa (近い)

tu:sa (遠い)

?asasan (浅い)

takasa (高い)

ʃikusa (低い)

ʃukasa (深い)

ʃuka ?umi (深海)

kuʃisa (苦しい)

mukase:kuʃisata:(昔は苦しかった)

natʃikasan (なつかしい)

mukafinu kutunu natʃikasan ra:(昔のことがなつかしいよ)

daitʃi (だるい, つかれる)

ru:daitʃi (体がつかれる)

ʃumitʃe:(暑い)

nukusa (あたたかさ)

?atʃijatʃi (あたたかくする)

ʃi:kufi (寒い)

ʃidʒuikufi (冷い)

hatʃiko:kufi (痒い)

wata jadi (腹がいたい)

gassan (軽い)

?ununi:ja gassan ra:(この荷は軽い)

mbukufi (重い)

du:jawaikufi (体が弱い)

du:gandʒu:kufi (体が強い)

ma:san ra:(おいしい)

ni:kufi (まずい)

sata:ʃamasan ra:(砂糖はあまいよ)

haikufi (辛い)

ko:gusunu haikufi (こしょうがからい)

?amakufi (味がうすい)

fi:kufi (すっぱい)	?itʃinakufi (忙しい)
ndʒakufi (にがい)	hadʒikakufi (恥しい)
mi:mun (新しい)	mutʃikakufi (むつかしい)
naʃikakufi (悲しい)	ʃikala:kufi (はずかしい)
he:ʃan (早い)	midʒi jaʃikufi (めずらしい)
ʒitʃimite: he:ʃan ra: (朝は早い)	hanajakufi (うるさい)
ninsan ra: (遅いよ)	ʔe:kufi (はやい)
hadʒa (匂い)	janakufi (きたない)
?ussakufi (うれしい, たのしい)	?wa:makufi (うらやましい)
?akasa (赤い)	mauta:ma (丸い)
?o:ta: (青)	ʒibukufi (煙い)
ʃiju: (白)	
kuju: (黒)	
mi:ʒitʃakufi (まぶしい)	
tʃa:kufi (美しい)	
tʃa:kufi nai ʒitʃu (美しい人)	
ha:kufi nai ʒitʃu (みにくい人)	
je:mi (闇)	
?akagai (明るい)	
?utuikufi (恐しい)	
dn: jassan ra: (やさしい)	
jassan ra: (やすい)	
nukukufi (ぬくい)	
ʒidʒuikufi (つめたい)	
?umukufi (おもしろい)	
kuʃikufi (きつい)	
kanakufi (かわいい) kanafanともいう。	
?utunasan (おとなしい)	
wakasan (若い)	
wakkufi (悪い)	
ʔa:kufi (かたい)	
jawajakufi (柔らかい)	
hatakufi (濃い)	
ʒitʃikufi (うすい)	
jitʃi (よい)	